

# 生存権や9条

## 雨宮さん語る

福井で憲法対談

憲法記念日の3日、福井市で作家の雨宮処凛さん(43)が、池田町在住で元東海大教授の伊藤洋子さん(75)と憲法について対談した。市民団体「戦争する国づくり反対!福井総がかりアクション」と県内の九条



憲法について話す雨宮処凛さん(福井市西開発4丁目)

の会が主催し、約350人が参加した。

雨宮さんは、生活保護受給の申請者に付き添った際などに憲法25条の生存権を主張した経験に触れ、「25条は具体的に隣の人の命が救えるツールになる、と大きな発見だった」と振り返った。「守ることも重要だが、ある権利は使わないと

なくなってしまう」

さらに「戦争との距離感が近くなっている」と指摘した。参加者から9条改憲について問われると、「変えたほうがいいというのは危うさを感じている。そこを突破口に、いろんなことがなし崩しになるのではないか」と話した。

(福宮智代)